

6月の園だより



梅雨の訪れ

春から初夏、梅雨と、子どもたちが季節の移り変わりを体感するには良い時期とも言えます。園では自然観察など、気付きを促すような活動をしていきたいと考えています。気温・湿度共に上がり、汗ばむ季節です。こまめに水分補給をし、健康管理には十分気を付けていきたいと思います。



6月行事予定

9日(木)	歯科検診 内科検診	10時～ 13時～
10日(金)	避難訓練	
14日(火)	こあら組保育参観	
15日(水)	ぱんだ組保育参観	
16日(木)	らいおん組保育参観	
17日(金)	お誕生会・身体測定	
23日(木)	じゃがいも掘り(予定) ※ぱんだ組・らいおん組対象	
1・8・22・29日(水)	体操・ENGLISHの日	
2・16・23日(木)	ENGLISHの日	

6月生まれのおともだち

わたなべ るなちゃん
 こばやし りのあちゃん
 わかい ごうきくん
 ひのはら あきとくん
 つかごし だいちくん

Happy
 Birthday

ENGLISH CLASSについて

5月からENGLISH CLASSがスタートしています！どのクラスも歌や動きに合わせて楽しく学んでいます♪今後は以下の日程ですすめていく予定です。ぜひお子様から様子を聞いてみて下さい♪

らいおん組・ぱんだ組：毎週水曜日
 こあら組：毎月第1・3木曜
 うさぎ組：毎月第2・4木曜（うさぎ組は6月23日からスタート）

*行事やクラスの様子によって変更する場合があります。



お願いとお知らせ

◆じゃがいも掘りの日は、**長靴、軍手**を記名したビニール袋に入れてご持参ください。
 じゃがいもの生育状況によって、日程が変更になる場合があります。



◆**歯科健診**の日は、**丁寧に歯磨き**をして登園しましょう。
 健診結果は「医師から受診の必要があります」のお子さんのみお知らせ致します。



◆園庭で遊んで帰られる方は必ずテニスコート隣の駐車場をご利用下さい。
 また、駐車スペース以外への駐車は他の方の迷惑となりますのでご遠慮ください。



マスク着用の考え方及び就学前児の取扱いについて

別紙

- アドバイザリーボードで示された専門家の考え方（5/19）も踏まえ、以下のように対応する。
 - 基本的な感染対策としてのマスク着用の位置づけは変更しない
 - 身体的距離が確保できないが、会話をほとんど行わない場合のマスク着用の考え方を明確化
 - 就学前の児童（2歳以上）のマスク着用について、オミクロン株対策以前の取扱いに戻す
- 引き続き、マスク着用を含めた基本的な感染対策（手指衛生や換気など）を徹底していただくとともに、こうしたマスク着用に関する考え方は、リーフレット等を作成し、丁寧に周知・広報を行う。

1. マスク着用の考え方

	身体的距離(※)が確保できる ※ 2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋 内 (注)	屋 外	屋 内 (注)	屋 外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用の必要はない 事例①	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用を推奨する 事例③	着用の必要はない 事例②

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。

※お年寄りやと会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

事例①

- ・ランニングなど離れて行う運動
- ・鬼ごっこなど密にならない外遊び

事例②

- ・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

事例③

- ・通勤電車の中

2. 小学校就学前の児童のマスク着用について

- **2歳未満（乳幼児）**は、引き続き、マスク着用は奨めない。
- **2歳以上**は、以下のとおり、オミクロン株対策以前の新型コロナウイルス対策の取扱いに戻す。

「保育所等では、個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。なお、施設内に感染者が生じている場合などにおいて、施設管理者等の判断により、可能な範囲で、マスクの着用を求めることは考えられる」

(注) 2歳以上については、本年2月の基本的対処方針の改訂時に、オミクロン株の特徴を踏まえた対応とし「保育所等では、発育状況等からマスクの着用が無理なく可能と判断される児童については、可能な範囲で、一時的に、マスク着用を奨める」としていた。

出典：厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部より以下一部抜粋

- マスク着用に関しては、こういった場面で外してよいのかという声や、マスク着用が長期化する中で表情が見えにくくなることによる影響を懸念する声があります。
- これから気温・湿度が高くなる季節になるため、マスクを着用していると熱中症のリスクも高くなることが懸念されます。
- 令和4年5月19日の厚生労働省アドバイザリーボードにおいて、屋外と子どものマスク着用についての考え方が示されました。

当園においても

「1. マスク着用の考え方」

「2. 小学校就学前の児童のマスク着用について」

を励行してまいります。

今月も、最後までご覧いただきありがとうございました。